

論文：

1 高信頼・高効率な通信を可能とするネットワーク構造について、同じノード間での通信であっても、異なるネットワークトポロジを利用することで通信効率が約 20%改善されることを明らかにした。

論文： Hirona Shimokawa, Yasuhiro Sato, Shingo Ata, Ikuo Oka, “Improvement of Information Retrieval Efficiency by Crossing Multiple Community,” in Proceedings of the 13th Asia-Pacific Network Operations and Management Symposium (APNOMS 2011), Taipei, Taiwan, September 2011.

2 通信品質管理に関わる制御・運用手法について、劣化のないダウンロード状態から約 68%までダウンロード速度が低下した場合に、その通信品質に対して多くのユーザは不満を感じるということがわかった。

論文： Yasuhiro Sato, Shin'ichiro Kitano, Shingo Ata, Ikuo Oka, “Estimating Environment-Independent Parameters on Basis of Comparative Assessment of User's Subjectivity,” IEICE Transactions on Communications, Vol. E94-B, No. 8, pp. 2265–2273, August 2011.